

# 提言にあたって

平成29年度 清水東地区自治会連合会  
会長 勝 木 浩 和

この度、清水東地区の将来像を「菅えビジョン」として報告書にまとめました。

平成29年1月、清水東地区自治会連合会と清水東公民館は、地区住民を対象に「清水東地区まちづくりアンケート」を実施しました。

全戸配布498枚中、368枚（74%）もの回答がありました。多くの方のご協力を頂き、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、アンケートでは清水東地区は75%の方が住みやすいと回答されている一方で、高齢社会により、公共交通の不便さや近隣店舗が少ないなどで、住みにくいという意見もいただいております。

私たち自治会連合会は、住みよいまち、住み続けたくなるまち、人が集うまちを目指して、様々なまちづくり活動を行っています。そこで、これからのまちづくり活動を清水東地区のビジョンとして策定することになりました。

このビジョン策定事業は、福井市まち未来創造室「地域の魅力発信事業」により、3回のワークショップを開催し、広く地区住民の意見を取り入れ、福井市まちづくりお助け隊及び地域担当職員の方々の特段の支援をいただきました。

このビジョンに掲げられました課題は、「まちづくりプロジェクト」を結成して取り組みたいと思います。このプロジェクトに地域のみなさまの積極的なご参加をお願い申し上げます。

# 提言にあたって

清水東公民館活動部組織  
総括 川 上 克 博

3回にわたるワークショップによってまとめられた清水東地区の将来像が、「菅えビジョン」として地区のみなさまにご提言できる運びとなりました。

このビジョンは延べ61名の住民参加のもと、自然、教育、交通、伝統や歴史をキーワードとして清水東地区の課題と今後の取り組みを語り合い、4つの部門、「里山の風景を守る」、「水辺を活かし環境を守る」、「歴史、伝統、人をつなぐ」、「多様な交通手段を活かす」からのまちづくり提言としました。

先の「まちづくりアンケート」によると、住民の多くが、「誰もが安心して暮らせる安全な町」、「自然や環境が整備された町」、「福祉や医療が充実した町」を望んでいます。

こうした意識が今後のまちづくりに反映されるよう、地区住民一丸となって「清水東地区の将来像（菅えビジョン）」の実現に取り組みたいものです。

報告書提言以外にも、第1回ワークショップに出された意見としては、人口減少対策、地域活性化策として若者が集まるまち、病院や働く場のあるまち、市街化調整区域問題などいくつかの重要な課題がありました。これらの課題は行政と一体となって取り組まなければならないものでもあります。

清水東公民館は、生涯学習により「自分たちの地区は住民自らが守る」という自立の精神を育み、まちづくりのリーダーを多数輩出していきたいものです。